

前期 ふりかえりアンケート結果報告

地域のみなさまや保護者のみなさまには、日頃より成美小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、夏休み前に「ふりかえりアンケート」のお願いをしました。ご多用の中、貴重なご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見をこれからの成美小学校の子どもたちのために活かしていきたいと思います。今後も成美小学校を温かく応援していただきますようお願い致します。

校訓・学校教育目標・合言葉

校 訓 信・愛・敬

学校教育目標 すすんでやります！成美の子～自分で みんなで もっと もっと！～

合言葉 明るく 楽しく 元気よく！

【願う子どもの姿】

1 笑顔で学ぶ「自分ごととして学びに向かう子ども」

2 笑顔で生活「居心地のよい学級・学校」

3 笑顔で支え合う「子どもの笑顔と挨拶・成長と元気が保護者と地域に届く」

1 昨年度学校アンケート結果を受けての、今年度前期の主な取り組み

昨年度、後期アンケートで挙げた「表現力の向上」「主体性の育成」「読書習慣・あいさつの定着」等の課題に対し、本校では全教職員で指導を統一し、以下の実践を行ってまいりました。

① 表現する力の向上

「ふりかえりカード」による毎時間のゴール共有と、独自キャラクター「成美レンジャー（伝えるんジャー・関わるんジャー）」を用いた「身につけたい力」の全校可視化により、主体的な対話を促進。

② 主体性の育成（自己選択・自己決定）

一律の宿題から「自主学习」への移行。授業や宿題（ドリルパーク等）で、学び方や習熟度を児童自らが選択・決定する手立てを推進。

③ 全職員で共有し支え合う体制の構築

「なかよし班（縦割り）」活動の活性化、学年ブロック合同授業、教科担任制（理科・図工・音楽・書写等）の導入を実施。担任以外の多くの教職員の目で、児童を多角的に見守り支える体制を整備。

④ 体力づくりと健やかな生活習慣

朝運動を週3回（昨年度は2回）に増やし、学年ブロックごとに体育の授業内容と関連付けた運動種目（長縄、ミニハードル、鉄棒等）を取り入れ、効果的な体力向上を推進。

⑤ 読書活動の充実と習慣化

新導入の「本バッグ」活用による身近な読書環境の整備と、「親子読書の日」や「読書デー」の実施により、家庭と連携した自発的な読書習慣を定着。

2 アンケート結果

（1）学校評価結果（A とても思う B 思う C あまり思わない D まったく思わない）

児童			保護者			教職員		
	A+B	C+D		A+B	C+D		A+B	C+D
1.わたしは、学校が楽しいと思います。	86%	14%	1.わが子は、学校に行くのを楽しみにしているようだ。	90%	10%	1.わたしは、子供たちが学校生活を楽しめるような働きかけをしている。	100%	0%
2.わたしには、遊んだり相談できたりする友達がいる。	90%	10%	2.わが子は、学校のことをよく話してくれる。	83%	17%	2.わたしは、子供たちが学校行事や活動に積極的に参加できるような働きかけをしている。	100%	0%
3.わたしは、授業の課題やわからないことを、自分で調べたり聞いたりして解決しようとしています。	83%	17%	3.わが子は、授業の内容を理解できているようだ。	83%	17%	3.わたしは、子供たちが授業の内容を理解できるような働きかけをしている。	100%	0%

4.わたしは、自分の意見や考えを 発表したり書いたりして伝えています。	79%	21%	4.わが子は、学校で自分の考えを 話したり聞いたりして伝えている。	74%	26%	4.わたしは、授業中に子供たちの 発言が活発になるような働きかけをしている。	93%	7%
5.わたしの学校は、わからないこと や疑問に思ったことを、調べたり 聞いたりしやすいと思います。	82%	18%	5.わが子は、課題やわからないこと があったときに、自分で調べたり 聞いたりして解決しようとしている。	68%	32%	5.わたしは、子供の実態に応じ個 別の指導・支援をしている。	100%	0%
6.わたしの学校には、相談したり 話を聞いてもらったりできる先生 (大人)がいます。	92%	8%	6.学校の先生は子供の話をよく 聞いてくれる。	93%	7%	6.わたしは、子供たちが困ったと きに相談しやすい環境を作っている。	100%	0%
7.わたしには、学校に自分の良 いところを認めてくれる先生(大 人)がいます。	84%	16%	7.学校の先生は丁寧に対応して くれる。	98%	2%	7.わたしは、子供や保護者に丁 寧に対応している。	100%	0%
8.わたしは、授業や家庭学習で ICT(学校のタブレット)を活用し て学習に取り組んでいます。	80%	20%	8.わが子は、授業や家庭学習で ICT(学校のタブレット)を活用し て学習に取り組んでいる。	62%	38%	9.わたしは、授業や家庭学習で ICT(タブレット)を活用している。	64%	36%
9.わたしは、運動をしたり体を動 かしたりして体力づくりをしていま す。	85%	15%	9.わが子は、運動をしたり体を動 かしたりして継続的に体力づくり をしている。	75%	25%	10.わたしは、子供たちが運動し たり体力づくりをしたりするような 働きかけをしている。	86%	14%
10.わたしは、生活の中で、幸せ な気持ちになることがあります。	87%	13%	10.わが子は、日常生活の中で幸 せそうに過ごしている。	96%	4%	8.わたしは、子供たちが安心して 生活できるよう配慮している。	100%	0%
11.わたしは、学校の目標「すす んでやります！成美の子」にむ かって、生活しています。	87%	13%	11.保護者は、学校目標を理解 し、家庭でも学校目標にそった働 きかけをしている。	80%	20%	12.わたしは、子どもが、学校目 標「すすんでやります！成美の 子」を意識して学校生活が送れ るように働きかけている。	100%	0%
12.わたしは、家族や地域の人にも、 すすんであいさつをしています。	86%	14%	12.保護者は、お子さんと一緒 に、家庭や地域でも、すすんであ いさつをしています。	95%	5%	13.わたしは、子どもが、時と場合 に応じて、誰にでもすすんであい さつができるように働きかけてい る。	93%	7%
13.親子読書や読書デーの日 は、家で読書の時間が増えています。	85%	15%	13.「家庭読書の日」や「読書デー」 などの取り組みをしていますが、保護 者は家庭で読書をするように子ども に働きかけています。	71%	29%	14.わたしは、子どもが、読書をする ような取り組みを行っている。	64%	36%
14.わたしは、なかよし班のみんな などの活動を通して、下級生や 学校の役に立っていると感じて います。	84%	16%	14.わが子は、家庭の中で、洗濯 物たたみや食器並べなど、家族 の一員として決まったお手伝い や役割を担っています。	67%	33%	15.わたしは、子どもたち一人一 人が自己有用感や自己肯定感 をたかめられるような働きかけを している。	100%	0%
15.わたしは、地域の行事や活動 に、参加したいと思います。	83%	17%	15.保護者は、地域の行事や活 動にお子さんと一緒に参加したり、 参加するよう働きかけを行っ たりしています。	91%	9%	16.わたしは、子どもが、地域の 行事や活動に参加できるように、 呼びかけをしている。	57%	43%

・・・AB の割合が 90%以上

・・・AB の割合が 80%以下

2 考察 ～成果(成美小の強み)と課題～

【成果と強み】確かな安心感と高い他者貢献意欲

・**安心感のある校風**: 児童の「学校が楽しい」が児童 86%・保護者 90%、相談できる大人が「いる」が児童 92%・保護者 93%と高水準であり、全教職員の丁寧な寄り添いと毎月の「生活ジャンプアップアンケート面談」(生活アンケートの後の担任との面談)が安心感の土台となっています。

・**高い自己有用感を育む異学年活動**: 「なかよし班(縦割り)活動を通して、下級生や学校の役に立っている」と実感している児童が 84%に達し、自己肯定感が育まれています。

・**児童の地域貢献・参画への高い意欲**: 児童記述から、地域行事への参加理由として「人の役に立ちたい」「困っている人を助けたい」「大好きな町をきれいにしたい」といった、純粹かつ極めて強い他者貢献への主体的な意欲が明らかになりました。

・**健康・読書の定着**: 朝運動の週3回化が体力づくりの実感と繋がっています。また、「親子読書の日・読書デー」により、児童の 85%が家庭での読書時間の増加を実感しています。

【課題と今後の改善点】学校・家庭での行動の一貫性と ICT 活用

・**表現力と主体的な学習姿勢**: 自分の意見や考えを伝える力(児童 79%・保護者 74%)や、家庭で

「自分で調べて解決しようとする姿（保護者見取り 68%）」の向上。

・心の充足と言葉遣い：幸福感のギャップ（児童 87%・保護者 96%）や不適切な言葉遣いに対し、適切な言葉への言い換え指導。

・学校外での挨拶と家庭での役割の推進：個人差が見られる地域での挨拶（82%）の習慣化。また、地域行事への呼びかけ（59%）の強化や、家庭での役割（67%）づくりを通して、子どもたちの「誰かの役に立ちたい」という意欲を、実際の行動へと繋げていくこと。

・授業や家庭学習での ICT の有効活用：タブレット活用が教職員 65%・保護者見取り 62%と低水準にあり、持ち帰り負担に配慮しつつ、日常的な活用頻度を高めること。

3 2 学期からの成美っ子 パワーアップ作戦 ～自分で みんなで もっと もっと！～

前期の評価を受け、本校では「たとえ一人であっても笑顔でいられない子がいるなら全員で支える」という理念のもと、2 学期より学校全体で以下の具体策を講じてまいります。

ア 笑顔で学ぶ 話す力・自学・ICT の連動推進

・「発表」から「伝える」への意識の転換：

授業内で意図的な対話（ペア・少人数から全体へ）を確保。「発表しよう」を「伝えよう」に変え、成美小キャラクターの「〇〇レンジャー」や「〇〇タイム」を活用して話しやすい空気を作ります。

・自主学習の賞揚（しょうよう）と日常的なタブレット活用

自分で課題を見つけて取り組む「自主学習」を推奨し、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。お互いの「自主学習ノート」を学年ブロックで紹介・掲示し、賞揚（良い工夫を認め合って高め合う）する場をつくります。また、週 1 回のタブレットを使用した宿題に加え、高学年では「デジタル予定帳」（タイピングスキル向上）を導入するなど、日常的にタブレットを活用する機会を増やしていきます。また学年に応じた ICT 活用スキルを明確にしていきます。

・図書館利用の意図的確保

週 1 回、本を借りに行く時間を意図的に確保し、本バッグを有効活用します。

イ 笑顔で生活 ポジティブ感情の言語化

・ほかほか言葉を増やす

「ありがとう週間」などの設定や道徳・学活を充実。不適切な言葉が見られた際は、大人がそばに寄り添い「悲しかったんだね」「こうしてほしかったね」と児童の本当の感情を優しい言葉に言い換え（代弁）させ、感情コントロールを支援します。また、言葉については、懇談会等で取り上げ、保護者とも共に考えていきます。

・ゆとり時間の確保（子どもも教員も）

今年度設定した「学級遊び」の時間が充実したものとなるように、計画的に設定します。（子どもも大人もゆとりのある日程にする。）また、中昼休みの委員会の常時活動を精選・スリム化し、全力で自由に遊べる豊かな時間を作れるようにしていきます。

ウ. 笑顔で支え合う 地域への挨拶と役割の実践、および他校交流の系統化

・地域と共にあいさつ運動

PTA 交通指導の場を活用し、保護者と共に、挨拶を広めていきます。保護者からのアンケートで子どもたちの良い姿の意見を回収し、子どもたちと共有して価値付けます。児童も通学班児童会等では、地域での「挨拶 100 点作戦」を話し合います。

・「人の役に立ちたい」という子どもの意欲の行動化

学校では、縦割り班活動や係・委員会活動等で、子どもたちがリーダーとなって活躍できる場を設けていきます。あわせて、家庭でも「洗濯物たたみや食器並べ」などの『マイ役割』を持つことが、子どもの自己有用感や責任感を育むという教育的価値について、学校だよりや懇談会で発信していきます。子どもたちの「誰かの役に立ちたい」という優しい思いを実際の行動へと繋げるため、学校とご家庭が温かく手を取り合い、共に歩んでいければ幸いです。

・3 校交流の教育課程への位置付け

足柄・明倫小との合同授業やオンライン交流を年に複数回、教育課程にしっかりと位置付け、系統的な交流を推進します。

4 保護者からのご意見に対する回答

※学校全体に関わるものをまとめて回答いたします。個人・特定の学年の内容に関わるものに関しては、個別に（面談等）対応させていただきます。ご了承ください。

1. 【指導・対応】（教職員への感謝、指導方針・態度）

日頃の教育活動や温かい励ましに心より感謝申し上げるとともに、全教職員で子どもたち一人ひとりの良さに寄り添い、具体的に褒めて伸ばす見守り体制を継続していきます。

教職員一同、日頃の言葉遣いや態度に細心の注意を払い、子どもたちが安心感をもって生活できる温かい言葉掛けと環境づくりに努めていきます。その上で、子どもたち一人ひとりの思いを大切に受け止め、自ら考え判断・決定する主体性や、仲間との丁寧な対話を通して互いに納得のいく合意形成を図る力を丁寧に育てていきます。

2. 【学習・宿題・教材】

授業での主体的な対話時間を確保するとともに、家庭学習の進め方や関わり方のヒントをお便り等でお伝えしていきます。また、学習状況を把握しやすいよう、節目での教科書持ち帰りを検討します。

3. 【情報共有・コミュニケーション】

児童の細かな変化や困りごとは、連絡帳や電話等で速やかにご家庭へ共有します。学校独自の取り組みについては、目的やねらいをお伝えするようにいたします。また、各種活動が児童の負担になりすぎないように、全体的なバランスや活動の精選にも努めます。

4. 【児童の様子・生活習慣】

言葉遣いや態度の乱れに対しては、学校でも日常的な個別対話をし、不適切な言葉の裏にある思いを受け止めつつ、適切な言葉遣いへの言い換えを粘り強く指導します。今後も家庭と足並みを揃え、一貫した指導で温かく支えていきます。

5. 【学校行事・縦割り・他校交流】

縦割り班活動や他校交流を楽しみ、ご家庭でもそのことを嬉しそうに話してくれている様子をアンケートを通して知ることができ、心より嬉しく思います。引き続き、系統的な交流授業をさらに充実させるとともに、運動を通じた仲間づくりも大切にしていきます。

家庭訪問の時期やあり方について貴重なご意見をいただきました。本校では、年度当初における保護者の皆様との最初の関わりを大切にしているため、今後も家庭訪問は継続していきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

6. 【安全・環境・施設】

建物の老朽化と避難時の安全対策については、定期的に専門業者による点検を行っています。今後も点検時に問題がある場合は、早急に町へ報告し対応いたします。遊具の安全点検は、職員と町の専門業者にて行っており、安全面は現在問題はありません。

下校時の見守りボランティアについてご意見をいただきました。下校時も子どもたちの安全を見守っていただけるよう、スクールガード、学校ボランティア、民生委員の皆様と呼びかけをしたいと考えています。

校内の駐車場に関しては、現状確保することが難しいため、子どもたちの安全面を第一に考え、大きな行事の時には、グランド開放することも検討していきます。

7. 【地域・学童・外部機関との連携】

学童保育とのトラブル情報の共有要望について、放課後の安心安全を守るためにも今後も学童側との密な連携・迅速な情報共有を強化します。また、家庭教育学級へ祖父母や地域の方をお招きするアイデアは、地域密着の学校づくりに繋がるため、家庭教育学級長とも相談をしながら、その都度検討していきます。

